

## 事業報告書 (平成30年度)

事業名 町内の課題克服と地域リーダー養成のための学習会(支え合う地域づくりを目指して)

団体名 津倉わいわいESD 担当者名 小楨章生 高橋登志広

※活動の様子がわかる写真(データもお願いします)と説明を必ず添付してください。

### 1. 活動内容(日時、場所、参加対象者、人数、内容等)

別紙(平成30年度 津倉わいわいESDの活動実績表)のとおり

- ・4月29日 ESD総会 「29年度活動の総括、年間活動計画の承認」 10:00～11:30 津倉町集会所
- ・10月21日 講演:人生100年時代を見据えて「自宅で出来る限り長く、健やかに暮らすために  
何を準備すべきか…」 10:00～11:30 津倉町集会所
- ・11月19日 研修視察:「さん太しんぶん館」  
…新聞の歴史や新聞の持つ社会的な役割を学習する  
10:00～11:00 さん太しんぶん館
- ・12月16日 講演:「津倉古墳」の発掘調査報告会」  
この調査によって、古墳の造築時期や形状、規模の確認。また貴重な埋葬品も  
多数発掘されたことから相当身分の高い人物ではないかと推定されています。  
10:00～11:30 津倉町集会所
- ・12月20日 「ふれあいカフェ」のクリスマスパーティ&忘年会開催  
ふれあいカフェのメンバーを中心に独居老人を招待したパーティを開催  
11:30～14:00 津倉町集会所
- ・1月14日 会員会議  
・ESD事業の浸透と活動の見直し & 協力会員の増員計画とカフェ総括  
14:30～15:30 津倉町集会所
- ・1月14日 ESDカフェ新年会を開催  
新年度の活動計画について意見交換……参加者で「餅つき」を実施  
11:30～14:00 津倉町集会所
- ・2月17日 講演:「正しい交差点横断について」  
津倉周辺国道上300m余りに4つの交差点がありますが、4つとも信号機種類が異なる。  
自転車・歩行者の横断ルールを正しく理解する学習会。

※ふれあいカフェ : 毎週:月曜日(13:00～16:00)開催 常時15名程度の参加  
超高齢化社会に備えて「支え合う地域づくり」を目指す。

#### 特記イベント

##### ○手芸

・ティッシュケース ・キャンドルライト ・お手玉 ・イルミネーション ・カラーボール ・たまごポプリ…づくり

○映画鑑賞 ○ランチ ○お笑い塾 ○健康体操および軽ウオーキング

○オーガニック商品の販売

## 2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

- ・ 町内会の会議に積極的に出席して、ESD活動のPR、特に高齢者向けの「ふれあいカフェ」の理解促進に努めた。ESD活動の一部を町内会事業に組み入れて参加の拡大を図った。(お月見茶会等)
- ・ 高齢化の進む町内の実状を踏まえて、10年前後に到来する課題への準備学習を行った。現在の独居老人世帯は17%であるが、近い将来は20~30%超になると考えられる。継続して出来る「ふれあい交流」から共助の精神醸成に努めた。
- ・ 町内で多数の人が参加可能で持続可能な行事を形成し、「支え合う地域づくり」の精神醸成に貢献できた。(ラジオ塔を活用したラジオ体操および野点茶会、独居老人を囲むクリスマスパーティ)
- ・ 地域の人と交流の輪を広げたい意向を持つ町内の事業所(会社)や他町内のカフェと連携して、効果的な活動イベントを行なうことができた。

また、7月に発生した洪水被害など岡山では想定外の災害が発生したことを教訓にして、安全な生活を送ることへの備えをESD活動の中に取り入れた。

毎週実施している「ふれあいカフェ」は、高齢者から「ここへ来るのが楽しみ！」という参加者が多い。メニューに手芸を増加したことで、見るだけ、しゃべるだけから手先を使うことの楽しみが現れている。また、自分の作ったものを友人や家族にプレゼントする喜びが生きがいになるようだ。

## 3. 取組の成果(参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など)

- ・ 成果の一番は、何といても「ふれあいカフェ(毎週1回開催)」の定着と充実である。  
総括を踏まえて、参加者が増えるようメニューの見直しやPRを行った。その結果、「ここへ来るのが楽しみ。あれを又やりたい。」という声が聴かれる。主催者にとっては、遣り甲斐のある状況になってきている。この状況から親しさ、友情、共助の精神に繋がっていると感じている。  
準備するESD会員は、相変わらず大変であるが高齢者の方には大層喜んで頂ける結果となっている。最近、カフェが浸透して参加者が増加傾向にあり喜ばしい。
- ・ 講座会に参加してくる顔ぶれは、テーマにより様々であるが我々が目指すところは「支え合う地域づくり」であり、その為に地域の現状と今後の推移を予測するなかで「今やらなければならないこと。今から準備しておかなければならないこと。」を実践することである。したがって、講座テーマについては、家庭において直ぐにも実践すること、意識の改革を図りこれから実践していくことに分けている。
- ・ 「お茶会」は、小学生や幼児が休日を利用して点前を修練し、親や祖父母に感謝を込めて振舞う。この「ふれあい茶会」は、例年微笑ましい光景のイベントになっている。今年も、ラジオ塔から流れる琴の音を聞きながら野点茶会を行なうことが出来た。しっかりと町内の老若男女が集う交流で地域づくりに貢献できたと思う。
- ・ ラジオ塔の発見・活用から町内会イベントの位置づけが変わり、参加者意識に変化がみられる。(伝統行事を引継いで、老若男女の交流を促進する)

## 4. 今後の課題と展望

- ・ 独居老人の世帯が急激に進んでおり、町内会でもどのような生活状況の人なのか把握しきれていない。その中であって「支え合う地域づくり」は急務と考えている。10年後は一人住まいの世帯が30%程度となっているだろう。高齢者の生活環境は大きく変わってくる。この大きな問題は、町内会で取り組まなければならない課題であるが、取れあえず「ESDふれあいカフェ」を通じて歩むべき方向を探りたいと考えている。高齢者が継続して参加し、喜んでくれているところを見ると、その交流の中から高齢者の生活に

(様式第8号)

必要な「支援活動」を見出していきたい。

・次世代の地域リーダー候補者はいるが、現役世代をESD活動に参加させる事は難しい。しかし、避けて通れない道であり、今後は幅広く交流が図れる行事を企画して、地域リーダー養成を町内会と連携して行いたい。



津倉わいわいESD

平成30年度

活動報告

## ESDカフェ3年目スタート

一昨年4月にオープン致しましたESDカフェも、お陰を持ちまして3年目を迎える事となりました。皆様方のご支援・ご協力の賜と感謝申し上げます。

4月2日(月)毎回実施の“あっぱれ桃太郎体操”実施。前回のいきいき健康出前講座での先生の教えを忠実に守り体操を実施。少し負荷がかかるも気持ち良い汗を掻き、お待ち兼ねの花見をカフェ参加の皆様とタコ公園にて実施。今年は桜の開花が早く、又、4月とは思えない暑さでしたが、桜吹雪の下、楽しく花見を実施致しました。



## たまごポプリ作成体験

7月2日(月)ESDカフェにて、町内在住の細川さんの指導の下、たまごポプリ作りを行いました。

卵に小さな穴を開け、中身を取り除き、中にポプリを詰めて表面に布を貼り付け完成。

いつもは賑やかなメンバーの方も、一心不乱に作成～素晴らしい出来栄えに皆さん感動！！



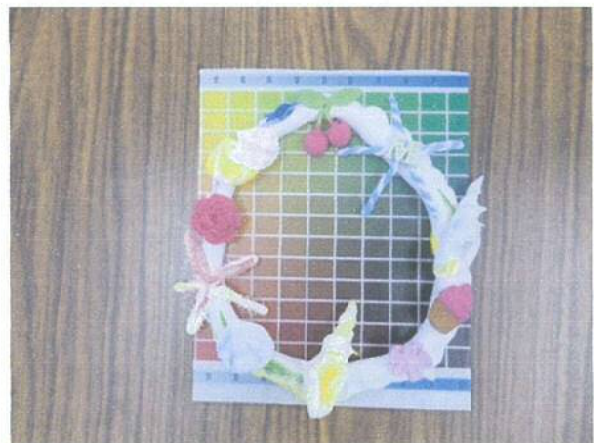
## ふわふわ粘土細工「リース」作り

8月6日(月)ESDカフェにて、粘土細工による「リース」作りを体験しました。

講師に「大森孝江」先生をお招きし、最初に作り方の手順の説明を受け、いよいよ自分で作り始める。夏休み期間ということもあり津倉町在住の小学生も参加。



中々、思うようにいかない方も多く、あちこちで「先生」、「先生」との声が響きかなり苦戦の様子。そんな中、子ども達は自分流にアレンジ、大人の方も悪戦苦闘の中、何とか出来上がる。



## お好み焼きパーティ開催

8月20日(月)ESDカフェのメンバーの方々と町内在住の小学生によるお好み焼きパーティが集会所にて開催されました。

今年は、津倉夏祭りが中止になり、子ども達に夏休みの思い出を残したいとの“おばあちゃん”方の発案で開催。子ども達も多く参加～お好み焼き、焼きそば、おにぎりに満腹状態に！！



その後、オセロゲーム、カルタ取り、トランプのゲームに短い時間でしたが楽しい一時を過ごせたのではないかと思います。





## ティッシュケース作成

9月3日(月)ESDカフェにて、小槇敏子さんの指導の下、ティッシュケースの作成をしました。

カフェメンバーの畑中さんより寄贈頂きました、花レースを活用しそれぞれが思い思いのレイアウトからオリジナルのティッシュケースが完成。

又、帽子に花レースを添付～非常にお洒落な帽子を作成される方もおられ短時間の間に完成。皆さんご満悦な表情でした。



### 完成した作品



## キャンドルライト作り

ここ数年、日本全国どこでも大きな自然災害が発生してます。岡山県も今までは自然災害の少ない県でしたが、今年の7月の西日本豪雨により、倉敷の真備地区、岡山市の平島地区中心におおきな被害がでております。又、大きな台風の影響で静岡県や千葉県では多くの世帯で停電が発生しました。ライフライン（電気・水・ガス）は生活していく上で最低限確保、準備が必要であると感じます。いざという時にローソクを探しても中々探せない、1本では時間が短い、又、ろうソクが倒れたら危ない等の問題を解消すべく、普段はリビングに飾りとして置き、いざという時に使う、お洒落なキャンドルライトを10月22日小槇さん指導の下、作成しました。



### <完成したキャンドルライト>



## お手玉作り & 手編みマフラー作り

ESDカフェメンバーにてお手玉作りを実施しました。皆さん子供の頃「上手かったのよ！」「毎日遊んでいたは」と、昔の思い出話を語りながら楽しんで作成されました。

早速出来上がったお手玉をやり、皆さん童心にかえって楽しんでおられました。この楽しさを広く伝えたいとの思いから、寄贈しようとの話がまとまり、出来上がったお手玉をカフェメンバーの畑中さんより北ふれあいセンターへ寄贈頂きました。



2/4(月)ESDカフェにて4組の池田さんの講師でマフラー編みを実施。

久しぶりの手編みへのチャレンジで皆さん夢中で楽しく編んでました。

その中で、今編んでいるマフラーを西日本豪雨災害で被災されてる方々にと話がまとまり、尚一層心を込めて編んでいきました。



出来上がった作品に手紙を添えてメンバーを代表して城崎さんに2/21に倉敷市社会福祉協議会真備支え合いセンターに届けて頂きました。

## イルミネーションカラーボール作成

11/26(月)ESDカフェメンバーにてイルミネーションカラーボール作りを小槇敏子さんの指導で実施しました。



皆さん苦戦(風船の大きさがバラバラ、刺繍糸が捌まる等)されながらも大きさが均一でないのも手作りの良さとポジティブに捉え完成。



クリスマスツリーに飾ってもよし、リビング、玄関先にオブジェとして置くのもよしと手作り満載のイルミネーションカラーボールが完成。



## ESDカフェ クリスマス会兼忘年会を開催

12月23日(日)ESDカフェの本年最後の行事としてクリスマス会兼忘年会在津倉町集会所にてAM11時30分より19名の参加者で開催されました。

津倉わいわいESD事務局より年間総括の挨拶に始まり、参加者を代表して岡さんの乾杯の音頭で楽しいひとときの幕開け！！



豪華な昼食に皆さんお腹も満足されてましたが、ケーキが出てくるとこれは別腹と皆さん嬉しい表情ですぐにお腹の中へ消えていきました。



その後、ビンゴゲーム、カラオケ等楽しい時間を過ごしました。

## ESDカフェ新年会開催

1月14日(月)ESDカフェ新年会を開催。

当日は、餅つきを行い、ぜんざいを作り皆さんで美味しくいただきました。



美味しいぜんざいに皆さん“笑顔” “笑顔”



その後、小槇さんお手製のすごろくゲームを実施。何回も振り出しに戻る方、またメンバーの方が記入した罰ゲームに困惑の方と皆さんおもしろ可笑しく童心に返り賑やかに実施。



## ESD講演会

10月21日(日)、津倉町集会所で「津倉わいわいESD」による講演会が開催されました。今回の講演は、人生100年時代を見据えて「自宅で出来る限り長く、健やかに暮らすために何を準備すべきか・・・」というテーマで岡山市東区・区長の大畑誠氏が1時間半に渡り、熱心にお話してくださいました。また、前段では7月の岡山市平島地区を襲った大水害についても触れられ、想定外のことが現実にかかる怖さと日頃の心構えの大切さを訴えられました。



大畑氏は、岡山市高齢者福祉課の勤務経験や自分の父親の認知症対応などの実体験を踏まえて当事者にとって有益な要点を分かりやすく解説していただきました。急な入院に対する日頃の準備、介護認定に対するポイント、介護保険の使い方、介護費用の制度、認知症に対する早期発見と対処方、延命治療への意思表示、一人暮らしの老後サポート、人生100年時代に向けての人生戦略の必要性・・・などのお話の中で、参加者の皆さんは個人的な課題に照らし合わせて学習されたと思います。



## ヤクルト「お笑い塾」開催

平成30年11月12日(月)、ESDカフェにて「ヤクルトお笑い塾」を開催しました。

岡山ヤクルト販売(株)の永井常務より、「健康寿命を伸ばして楽しく一生を終えたい。」という願いに沿うための日常生活を考えようというものでした。分かりやすいスライド説明とユーモアを交えての説明に、楽しくお笑いが絶えない時間となりました。



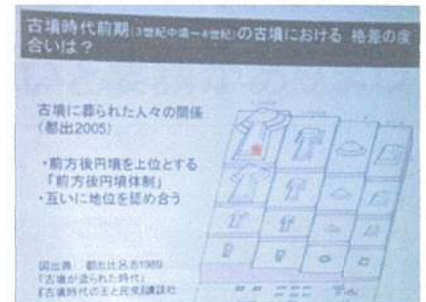
免疫力を上げるためには、バランスの取れた食事、適度な運動、生きがい等 日頃の生活環境を変えるとともに、笑顔で過ごすことが大事との事でした。

「笑顔は最良のくすり」この事を忘れずに、日常の生活を過ごしていきたいと思います。



# 「津倉古墳」の発掘調査報告会

12月16日(日)岡山大学大学院(社会文化科学研究科)の光本順准教授をお迎えして、5年に渡って行われた「津倉古墳」発掘調査の内容を解説していただきました。皆様の中には、毎年3月に実施された発掘現場説明会に参加された方もおられると思いますが、地元の古墳ということで関心が高く40数名の方が出席しました。(小学生12名)



## 1. なぜ津倉古墳に着目したのか?

### ①実態が良く分かっていない古墳

・1975年文献「吉備の国」の文中に「つぐら古墳」として登場 (1972年:岡山県遺跡地図発刊)

### ②古墳時代前期(3世紀後半~4世紀)の地域社会、古墳時代の身分格差?

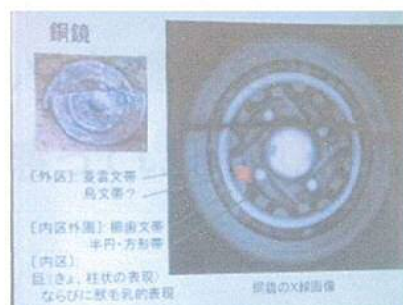
・前方後円墳に比べると小規模な古墳である

## 2. 調査成果の概要

### ①測量調査...三次元計測の実施

### ②墳丘の発掘...墳長38.5m

### ③埋葬施設の発掘...レーザー探査・電気探査による調査



## 「さん太しんぶん館」を見学

11月19日(月)津倉わいわいESDのメンバー13名は、山陽新聞の新印刷工場「さん太しんぶん館(早島町)」を見学しました。この施設は、全国的にも珍しい「新聞と教育」をテーマにした学習機能を有しており、新聞の歴史や新聞の持つ社会的な役割を丁寧に解説しています。

エントランスを抜けると目の前に巨大な立体紙倉庫が飛び込んでくる。また、モニュメントの巨大な実物巻紙もデーンとお出迎えた。これは、新聞印刷に使用されるロール紙で驚きの大きさである。



印刷設備を抜けると展示回廊だ。「新聞の届くまで」と題した新聞づくりの工程が取材から編集、印刷、読者への配達までが時系列に並ぶ。

さらに、巨大な壁画年表は「地域とつながる山陽新聞」のコーナーへと続く。ここでは、日本の新聞の歴史、山陽新聞の歴史、世界史が3段に時系列に並べられており報道の歴史が一覧できる。



見学して改めて感じることは、様々なSNSが発達した現代においては情報は豊富で、しかも速いが不確実な情報も多い。その点、新聞の役割も変化していると感じるが取材の上に裏どりをして正確なニュースを届ける新聞は貴重な存在ということである。津倉わいわいESDのメンバーは、しんぶん館を見学の後、倉敷美観地区で昼食、紅葉の堀川や土産店を散歩して秋日を楽しみました